

第3章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成25年10月1日現在の病院数は53施設（精神科病院8施設、一般病院45施設）で、前年に比べ1施設減少した。一般診療所は727施設で、前年に比べ2施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が8施設減少し、無床が6施設増加した。歯科診療所は279施設で、前年に比べ3施設減少した（表3-1）。

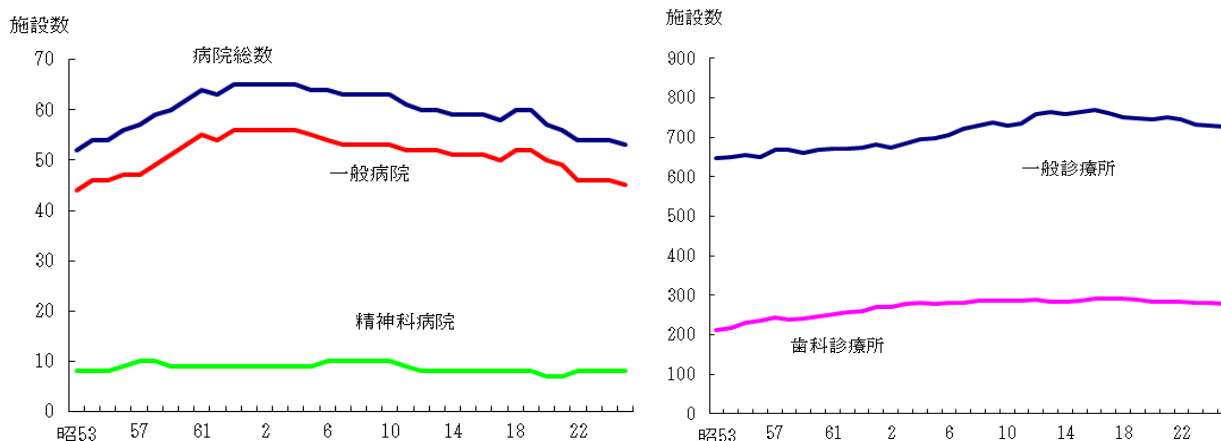
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	平成25年	平成24年	増減数	平成25年	平成24年
総数	1,059	1,065	△ 6	100.0	100.0
病院	53	54	△ 1	5.0 (100.0)	5.1 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(15.1)	(14.8)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	45	46	△ 1	(84.9)	(85.2)
一般診療所	727	729	△ 2	68.6 (100.0)	68.5 (100.0)
有床	49	57	△ 8	(6.7)	(7.8)
無床	678	672	6	(93.3)	(92.2)
歯科診療所	279	282	△ 3	26.3	26.5

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

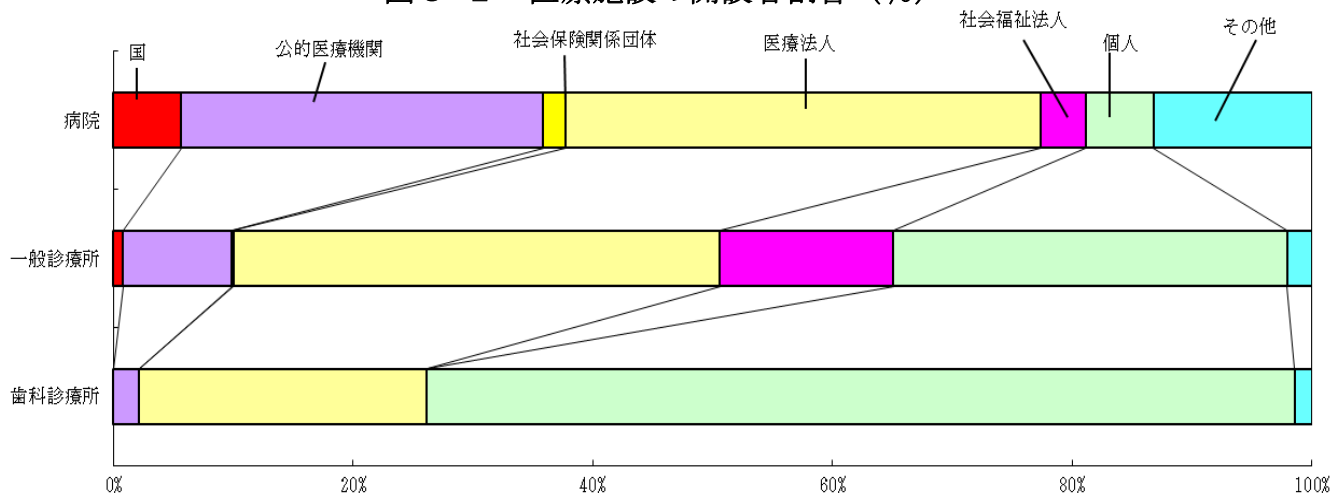
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の 39.6%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 30.2%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成 25 年の状況は、医療法人が 40.6%、個人が 32.9%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.4%を占めており、ついで医療法人が 24.0%となっている（図 3-2）。

図 3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口 10 万対施設数を前年と比べると、病院は 0.1、歯科診療所は 0.2 減少し、一般診療所は 0.5 増加した。

全国と比べると、病院は 0.8、一般診療所は 24.6 高く、歯科診療所は 14.3 低くなっている（表 3-2）。

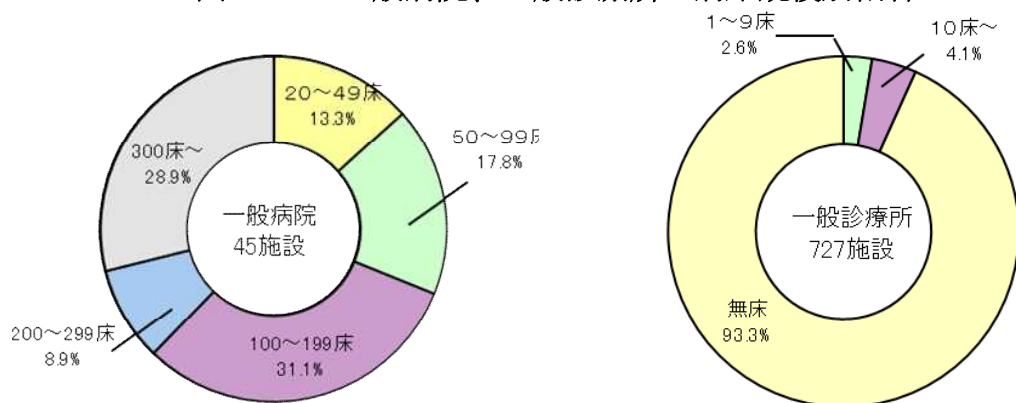
表 3-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	平成25年	平成24年	平成25年
病院	7.5	7.6	6.7
一般診療所	103.6	103.1	79.0
歯科診療所	39.7	39.9	54.0

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が 13.3%、50~99床が 17.8%、100~199床が 31.1%、200~299床が 8.9%、300床以上が 28.9%であった。

一般診療所は 1~9床が 2.6%、10床以上が 4.1%、残りの 93.3%は無床である（図 3-3）。

図 3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成 25 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 136 床減少した。病床の種別にみると、精神病床が 56 床、療養病床が 63 床、一般病床が 17 床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 122 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種別に応じた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成25年	平成24年	増減数	平成25年	平成24年
総 数	11,614	11,872	△ 258	100	100
病 院	11,048	11,184	△ 136	95.1 (100.0)	94.2 (100.0)
精神病床	2,376	2,432	△ 56	(21.5)	(21.7)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	33	33	-	(0.3)	(0.3)
療養病床	2,237	2,300	△ 63	(20.2)	(20.6)
一般病床	6,372	6,389	△ 17	(57.7)	(57.1)
一般診療所	566	688	△ 122	4.9	5.8
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 5.5、療養病床が 6.6 減少し、一般病床が 4.0 増加した。

また、一般診療所は前年より 16.7 減少した。

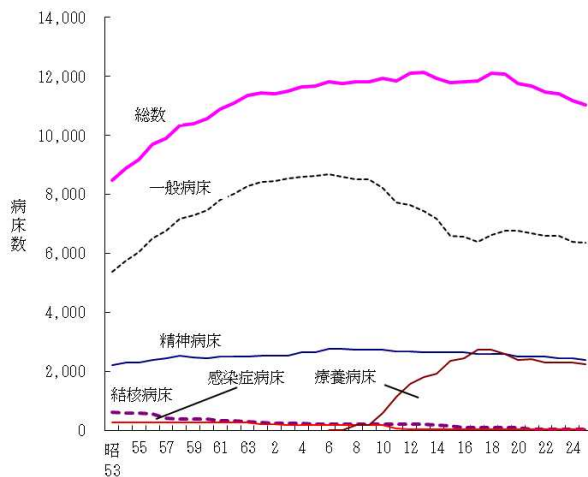
病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成25年	平成24年	平成25年
病 院	1,573.8	1,581.9	1,236.3
精神病床	338.5	344.0	266.9
感染症病床	4.3	4.2	1.4
結核病床	4.7	4.7	5.2
療養病床	318.7	325.3	257.8
一般病床	907.7	903.7	704.9
一般診療所	80.6	97.3	95.3

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）。

図 3-4 病床の種別に応じた病院の病床数



注:1) 「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2) 「療養病床」は、平成 12 年までは「療養型病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 53 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 48 施設で、ついで整形外科が 36 施設、外科が 33 施設となっている。平成 24 年と比べると麻酔科等 2 診療科目が増加し、内科等 5 診療科目が減少した。

一般診療所 727 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 561 施設であり、ついで小児科が 176 施設、消化器内科（胃腸内科）が 136 施設、循環器内科が 98 施設となっている。平成 24 年と比べると、内科等 13 診療科目が増加し、呼吸器内科等 6 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成25年	平成24年	増減数	平成25年	平成24年	増減数
内科	48	49	△ 1	561	550	11
呼吸器内科	15	15	-	35	36	△ 1
循環器内科	22	22	-	98	98	-
消化器内科 (胃腸内科)	18	18	-	136	136	-
腎臓内科	5	5	-	5	5	-
神経内科	31	32	△ 1	32	29	3
糖尿病内科 (代謝内科)	4	4	-	13	12	1
血液内科	3	3	-	2	2	-
皮膚科	23	23	-	49	49	-
アレルギー科	2	2	-	35	33	2
リウマチ科	3	3	-	17	16	1
感染症内科	-	-	・	1	1	-
小児科	26	26	-	176	177	△ 1
精神科	22	23	△ 1	52	47	5
心療内科	6	6	-	34	31	3
外科	33	33	-	77	79	△ 2
呼吸器外科	8	8	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	3	3	-	-	-	・
気管食道外科	-	-	・	2	2	-
消化器外科 (胃腸外科)	2	2	-	5	5	-
泌尿器科	21	21	-	22	21	1
肛門外科	4	4	-	14	15	△ 1
脳神経外科	14	14	-	8	8	-
整形外科	36	36	-	56	60	△ 4
形成外科	7	7	-	8	7	1
美容外科	-	-	・	4	3	1
眼科	21	21	-	50	49	1
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	3	3	-	2	2	-
産婦人科	16	16	-	17	17	-
産科	2	2	-	2	2	-
婦人科	5	6	△ 1	14	14	-
リハビリテーション科	30	31	△ 1	60	57	3
放射線科	21	21	-	28	29	△ 1
麻酔科	21	20	1	14	14	-
病理診断科	-	-	・	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	1	1	-	1	-	1
歯科	6	6	-	5	5	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	11	1	-	-	・

4 利用状況

平成 25 年の 1 日平均在院患者数は 8,972 人であり、前年から 123 人減少した。うち、精神科病院は 25 人、一般病院は 98 人減少した。1 日平均新入院患者数は 279 人で、前年から 1 人減少した。1 日平均退院患者数は 280 人で、前年と変わりなかった。1 日平均外来患者数は 7,471 人で、前年から 131 人減少した（表 3-6）。

表 3-6 病院・病床の種類別にみた 1 日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1 日平均在院患者数			1 日平均新入院患者数		
	平成25年	平成24年	増減数	平成25年	平成24年	増減数
病院総数	8,972	9,095	△ 123	279	280	△ 1
精神科病院	1,591	1,616	△ 25	5	5	-
一般病院	7,381	7,479	△ 98	275	275	-
病床総数	8,972	9,095	△ 123	279	280	△ 1
精神病床	2,098	2,202	△ 104	8	8	-
感染症病床	0	0	-	0	0	-
結核病床	9	9	-	0	0	-
療養病床	1,935	1,922	13	9	9	-
一般病床	4,930	4,962	△ 32	263	263	-

	1 日平均退院患者数			1 日平均外来患者数		
	平成25年	平成24年	増減数	平成25年	平成24年	増減数
病院総数	280	280	-	7,471	7,602	△ 131
精神科病院	5	5	-	396	410	△ 14
一般病院	275	275	-	7,075	7,192	△ 117
病床総数	280	280	-	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	0	0	-	・	・	・
結核病床	0	0	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	259	260	△ 1	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成 25 年の病院の病床利用率は、総数が 81.2%、精神病床が 88.6%、療養病床が 86.0%、一般病床が 77.4%、結核病床が 27.5%、感染症病床が 0.0%であった。（図 3-5）。

図 3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

